

「文京区版ネウボラ事業」

～妊娠・出産包括支援事業～

1 目的

核家族化や地域のつながりの希薄化等により、地域において妊産婦やその家族を支える力が弱くなってきており、妊娠・出産・子育てに係る父母の不安・負担が増えてきている。このため、妊娠から出産、子育て期にわたる切れ目ない支援を行うための事業を実施することにより、より身近な場で妊産婦等を支える仕組みをつくる。

2 実施事業

妊娠から出産、子育て期にわたる切れ目ない支援を行うため、下記の事業を実施する。特に妊娠早期から産後早期（4か月まで）の支援を充実させる。

(1) 母子保健コーディネーターの配置

(2) 両親学級（土曜日開催分）の拡充（18回→24回）

(3) 産前・産後サポート事業

① 「(仮) ネウボラ相談」

② 「(仮) 土曜子育て相談&パパママ交流」

③ 産後セルフケア教室の拡充（本郷支所で実施 1回/月→2回/月）

④ 育児グループ

(4)産後ケア事業

① 宿泊型ショートステイ

② 母乳相談事業（乳房マッサージを含む）

3 スケジュール

27年3月 区報等により事業周知

27年4月 母子保健コーディネーター配置

「(仮) ネウボラ相談」開始

「(仮) 土曜子育て相談&パパママ交流」開始

母乳相談事業開始

27年5月頃 宿泊型ショートステイ開始

4 予算

事業費 16,452千円

〈参考〉 ネウボラとは？

フィンランド語の“ネウボ (neuvo) =アドバイス “と” ラ (la) 場所 “を併せた「アドバイスの場」を意味する支援制度。文京区版ネウボラ事業は、妊娠から出産、子育て期にわたる切れ目ない支援によって、より身近な場で妊産婦等を支える仕組みをつくるものです。